※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆
九州運輸局メールマガジン　平成２３年９月１日　第１３６号
～九州の明日を拓く運輸と観光～
九州運輸局ＨＰアドレス　http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/
いつも九州運輸局メールマガジンをご覧いただき誠にありがとうございます。
◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※◆◆◆※※※◇◇◇※※※

―◆―　目　次　―◆―

１　九州運輸局ホームページアップ情報（８月２５日～８月３１日掲載分）
　☆各種情報
　☆各種手続き
　☆分野別情報
　☆報道発表
　☆お知らせ
２　現場リポート
３　国土交通省からのお知らせ情報

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
１　九州運輸局ホームページアップ情報（８月２５日～８月３１日掲載分）
◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
☆各種情報
《入札・契約情報》
・企画競争実施予定情報（平成２３年８月２６日付け）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/nyusatsu/pdf/busshi_chotatsu/kikakukyousou_110826.pdf

《行政処分状況》
・自動車整備事業者の法令違反に対する行政処分等の状況
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/jigyousya/seibi/seibi.htm

☆各種手続
・海技試験制度・合格発表（平成２３年１０月定期試験（口述試験）日割）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/kaigisiken/body.htm

☆分野別情報
《公共交通活性化》
・九州における今後の交通のあり方に関する検討会（平成２３年度第１回）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/kikaku/file24.html

《物流》
・新規倉庫業登録一覧（平成２３年７月分）
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/gyoumu/ji_bu_ka/souko/2307.pdf

☆報道発表
・「平成２３年度（第５５回）船員労働安全衛生月間」の実施
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0829_seninroudou.pdf

・「今こそ日本」キャンペーンを九州及び関西地区で開催します！
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/press/pdf/2011-0830_kokusai.pdf

・

☆お知らせ
・能力認定試験公示
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/kaigisikaku_2308.pdf

・平成２３年度マイカー「点検教室等」の開催について
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/osirase/files/2011-0831_seibi.pdf

◇◆◇◆◇◆

▼▼小学校の先生たちを集め「海運・海事産業」勉強会▼▼
～社会科研究会の先生による博多港見学会を開催～

日曜日から降り続いていた雨もようやく上がった８月２４日（水）に福岡地区の小学校社会科研究会の先生方３６名を対象として海事産業施設の見学会を開催しました。

この見学会は、先生方が社会科の授業で「海運・海事産業」を紹介していただき、子供たちに海に係わる職場への関心を高めてもらうことを目的に、「海事産業次世代人材育成推進事業」として（社）日本船主協会、九州地区船員対策連絡協議会の共催及び九州運輸局の協力で実施したものです。

当日は、バスで博多港を移動しながら、同乗した「博多港ポートガイド」から各埠頭の役割の説明があり、また、船での運搬方法例として、冷凍運搬船で、日本に運ばれてくるバナナは、硬くて青いまま、マイナス１３．５度に凍らせて傷まないように輸入されていること等の説明をしていただきました。なお、バナナは、それ以上の低温だと風邪を引く、それ以上高いと虫が付くとのことです。（ガイドの方は、バナナの風邪はどのようなものかは知らないそうですが、低温やけど（凍傷）のようなものでしょうか・・・？）

その後、香椎パークポートコンテナターミナルに向かい、屋上から全体像を見学し、稼働中であったガントリークレーン（船からコンテナを積みおろしする荷役機械）、ストラドルキャリア（コンテナ置場でコンテナをまたいでコンテナを運ぶ車）等を見ることができました。特にガントリークレーンの操作の説明では、免許はいらなくて、経験だけだそうです。クレーンの中程にガラス張りの運転席があるのですが、それが地上から８メートルの高さで、ガラス越しに真下を見ながらの操作が経験だけだというガイドの話に、先生たちは、「すごい！職人技だね！」と感心していました。

また、となりのアイランドシティコンテナターミナルの数ある荷役機械の中には、電動化を進めているトランスファークレーン（ＣＯ２の排出も８０%に押さえている）というエコな機械もあります。

午後からは、福岡市所有である旅客船「きんいん３」（１４５トン）に乗船し、陸から見た香椎パークポートを今度は、船上から見学していただきました。普段、海上からあまり眺めることのない志賀島や能古島（人工島のアイランドシティと同じ大きさ）といった島々や、湾内を行き交う船、さらには、埠頭に接岸して荷役真っ最中のコンテナ船等を見学し、港の違った一面をご覧いただけたのではないかと思っております。

その後、ベイサイドプレイス博多大ホールにて、現役の船長から「日本の船員の現状」と題し体験談を語っていただいた後、九州運輸局海上安全環境部海技試験官から「我が国の内航海運と海技資格制度について」という内容で出前講座を行いました。

最後に博多港ベイサイドミュージアム・博多ポートタワーの展望室から博多湾を展望し終了となりました。

今回の見学会に参加された先生たちからは「日頃、海事産業と接する機会がない

ので、なかなか子どもたちに上手く説明してあげるのが難しいが、こういった体験を通じて学んだことを、帰ったらいろいろと教えてあげたい。」と話され、また、参加した先生の中で校長をされている方からは、「この見学会で学んだ知識を子どもたちにしっかりと還元して欲しい。」と、いったような言葉も頂戴し、この見学会に関わったものとしては、非常に嬉しいお言葉をいただき充実した一日でした。

この見学会も今年で３回目となり、参加いただく先生の顔ぶれも毎年違っていますが、参加いただいた先生方からは、非常に有意義な見学会であったといったようなお褒めの言葉も頂戴しており、九州運輸局では、これからも見学会や体験型イベント等を通じ海事産業の次世代の人材育成に努めて参ります。

※この見学会の模様は、次のＵＲＬからご覧いただけます。
http://wwwtb.mlit.go.jp/kyushu/mail_magazine/pdf/photo/photo_136_3.pdf

（九州運輸局 海事振興部　 貨物課）

【参考】
ガントリークレーン、ストラドルキャリア、トランスファークレーンについては、次のＵＲＬをご参照下さい。
http://www.mlit.go.jp/kowan/kowan_homepage/minato_no_yakuwari/photo_02a.html

---

▼▼世界の海の安全を守る！　９月１日から３ヶ月に亘り、アジア欧州４５カ国で連携して、外国船舶に対し、船の構造安全に焦点を当てた「集中検査キャンペーン（ＣＩＣ)」実施▼▼

ＣＩＣは、Concentrated Inspection Campaign（集中検査キャンペーン）の頭文字を取った略字で、毎年、「東京ＭＯＵ」の参加国の外国船舶監督官（脚注ご参照）により実施する検査キャンペーンです。「東京ＭＯＵ」とは、日本も含めたアジア太平洋地域の１８か国が参加し、東京に事務局のある組織で、同地域におけるＰＳＣ（外国船舶監督）に関する協調体制を取っており、本年は、欧州を中心とした組織の「パリＭＯＵ（２７カ国参加)」と連動したキャンペーンを展開します。

ＣＩＣ期間中は、管轄の各港に入港して来る外国船舶に対し、ＬＬ条約（国際満載喫水線条約)、ＳＯＬＡＳ条約（海上人命安全条約）等の条約で定める構造安全に係る検査を集中的に、他の国際条約も含め、各種条約に定める基準を満足していることを確認する検査を実施し、重大な欠陥を発見した場合には、拘留等の処分を行うことになります。

注）全国の外国船舶監督官は、ＣＩＣ期間中に拘わらず、SOLAS 等の各種国際条約で定められた構造・設備・乗組員の資格等が各種基準に適合しているかを、日本に入港する外国船舶に対し日々、立入検査を実施し、外国船舶の海難事故・海洋汚染の未然防止に貢献しています。

【参考】
・「国土交通省ホームページ」のＣＩＣ関連報道発表サイトＵＲＬ：
http://www.mlit.go.jp/report/press/kaiji01_hh_000120.html

・東京ＭＯＵホームページＵＲＬ：
http://homepage3.nifty.com/zai-tms/（日本語版）
http://www.tokyo-mou.org/（英語版）

（海上安全環境部　外国船舶監督官）

◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
３　国土交通省からのお知らせ情報
◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆◇◆
☆９月と１０月は「自動車点検整備推進運動」の強化月間です！
＜あなたと地球にやさしい、クルマの愛情点検。＞

自動車は、使用期間や走行距離に応じて劣化するものであり、本来の安全・環境性能を維持するためには、自動車ユーザーが責任を持って、適切に点検整備（日常点検及び定期点検）を行うことが必要です。

このため、国土交通省は、関係団体等と協力して「自動車点検整備推進運動を」実施し、ユーザーへの呼びかけ等により、点検整備の確実な実施を推進してきているところです。例年、９月及び１０月は、強化月間として特に強力に運動を展開しており、本年は主に下記について取り組むこととしています。

記

１．総合的な広報・啓発活動の実施
自動車の無料点検・マイカー点検教室等のイベントを全国各地で開催するとともに、チラシ及び小冊子の配布等の啓発活動を実施。特に、長期使用のユーザー及び女性ユーザーを中心に自動車の点検整備の重要性をわかり易く広報。

２．事業用自動車に対する重点的な取組
定期点検の実施状況の車検時等における確認を強化するほか、大型車について、ホイールの取付状態や燃料装置等の重点箇所に係る点検を実施。

３．エコ整備の啓発
点検整備を行うメリットとして、適切な点検整備によるＣＯ２削減効果について、様々な機会を捉えて自動車ユーザーに対して周知。

４．公用車の点検整備の励行
中央省庁等が保有する公用車の適切な定期点検整備の励行を呼びかけ。

５．バッテリの点検整備の推進
バッテリの爆発事故等を防止するため、かかる事故等の情報を様々な機会を捉えて自動車ユーザーに対して展開・周知。

※強化月間に関する資料等、詳細については、次のＵＲＬからご覧いただけます。
http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha09_hh_000055.html

注）この記事は、国土交通省自動車局整備課において平成２３年８月２６日に発表した報道資料及び九州運輸局自動車技術安全部整備課が同年８月１９日に九州運輸局ホームページ（お知らせ）に掲載した資料をもとに作成しています。

◇◆◇◆◇◆